



III. 付 録

薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム～ファシリテーター用マニュアル～を活用するためのリスト

家族の関心事・テーマ	心理教育プログラムの該当箇所	該当ページ
1. 薬物依存症がどんな病気か知りたい。	「薬物依存症とは」	2-3
	「薬物による脳や体の医学的イメージ」	6-9
	「薬物依存症の仕組みを知ろう」	10-13
2. 本人はなぜ薬物をやめられないのかその理由が知りたい。	「薬物依存症の仕組みを知ろう」	10-13
	「薬物が与える影響（ダメージと魅力）を知ろう」	4-5
3. 本人が薬物依存症になった理由を知りたい。	「薬物依存症の仕組みを知ろう」	10-13
4. 薬物使用の害について知識を得たい。	「薬物による脳や体の医学的イメージ」	6-9
5. 薬物依存症からの回復過程や回復のための方法を知りたい。	「薬物依存症の回復に必要なことを考える」	14-15
	「依存症者本人の長期的な回復」	27
	「多様な回復」	66
6. 薬物依存症の回復を支援する関係機関について情報が欲しい。	「薬物依存症の回復に必要なことを考える」	14-15
	「役立つ社会資源」	67-68
	「薬物依存症の自助活動（ダルクとNA）と12ステップ・プログラム」	69
7. 再発について学び備えておきたい。	「薬物の再使用・依存症の再発についての理解と対応」	32-33
8. 本人をなんとかして治療につなげたい。	「本人に対して治療の提案をする前に必要な準備」	23-25
	「コミュニケーション・スキルの練習 課題5」	60-62
9. 本人との関係を良くしたい。 10. 本人に対する上手なコミュニケーションを身につけたい。	「望ましいコミュニケーションのための5か条」	17-22
	「コミュニケーション・スキルの練習 課題1～4」	43-59
11. 本人の回復を上手に応援できるようになりたい。	「依存症の回復における家族の関わり方を考える」	28-31
	「依存症者本人の回復段階に応じた家族の対応」	63-65
	「共依存とイネイブリング」	70-73
12. 薬物使用が止まったあとの本人への関わり方を知りたい。	「回復しつつある本人と新たな関係を築く」	84-86
	「薬物問題を経験したあとの新しい生活」	87-88
13. 家族の生活を立て直したい。 14. 家族が元気を取り戻す方法を知りたい。	「家族のセルフケア」	34-41
15. 家族関係をもっと良くしたい。 16. 本人以外の家族関係の問題に取り組みたい。	「家族関係を見直す」	74-78
17. 暴力とはどういうものかきちんと理解したい。 18. 本人からの暴力を避ける方法について考えたい。 19. 暴力を避けて安全な生活をしたい。	「暴力について」	95-103
	「本人の暴力から身を守るために」	104-111
20. 本人の良い行動を増やすために家族ができることを知りたい。 21. 本人の問題行動を減らすために家族ができることを知りたい。	「本人の望ましい行動を増やし、望ましくない行動を減らす」	79-83
22. 逮捕や裁判について知識を得ておきたい。	「逮捕や裁判を本人の回復のきっかけにする」	89-90
23. 逮捕や裁判のとき家族はどうしたらよいのか知りたい。	「薬物関連の法律と裁判の流れ」	91-94